

令和 6年 2月 22日

会津若松市長様

報告者 会津若松市男女共同参画推進実行委員会

実行委員長 皆川 誠治



男女共同参画社会づくり推進活動にかかる成果報告書

男女共同参画社会づくり推進活動支援補助金により実施いたしました「SDG s とジェンダー平等 講演会」の成果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 事業名

「SDG s とジェンダー平等 講演会」の開催

テーマ「今こそ意識改革と行動改革を！～ジェンダー平等を実現するために～」

2 事業の目的

2000年2月、男女共同参画社会の実現を目指して、福島県内で1番目に「会津若松市男女共同参画都市宣言」が行われてから、24年経った。

また、2015年に国連総会で採択された『SDG s』では、人類が地球で暮らし続けられる「持続可能な世界」を実現するために進むべき道を示し、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てている。SDG sでは、17の目標があり、5番目に「ジェンダー平等を実現しよう」の目標が掲げられている。ジェンダー平等は、17の目標すべてのゴールと関わっており、重要なテーマである。

以上のような背景を受け、今何をなすべきか、意識改革だけでなく行動改革をおこすために、「SDG s とジェンダー平等講演会」を開催し、SDG s やジェンダー平等への理解を深め、男女共同参画社会づくりの推進活動および啓発活動の一助とする。

3 主催 会津若松市男女共同参画推進実行委員会

4 開催日時 令和6年2月10日（土）10：00～12：00

5 会場 會津稽古堂 研修室3

6 出席者数 22名

7 成果と課題

講師の星野雅子氏から、「男女共同参画社会の実現のためには、女性が活躍できる社会づくりが重要で、無意識の思い込みや差別をなくしていかなければならない。そのためには、意識改革と行動改革がキーワードとなる。今まで関心がなかった人達への働きかけが必要である。働き方の見直しによるワーク・ライフ・バランスや女性のキャリア形成支援などの課題解決のため、経営者や首長などの意識改革が重要となってくる。ワーク・ライフ・バランスにより、一人一人が生活をデザインし、仕事をイメージすることができれば、人生の各段階に応じた多様な生き方が選択・実現できる社会になるのではないか」などの話があった。

参加者からも「ジェンダー平等の実現に向けて、何をなすべきか、講演内容が具体的で、とても参考になった。」などの声を聞くことができ、有意義な講演会となった。

しかしながら、現実の社会や家庭生活においては、固定的な性別役割分担意識が根強く残っている。これからも、男女差別のない地域社会の実現をめざして活動し、男女共同参画への理解を深め、都市宣言の更なる普及と発展を図っていきたいと考える。

「SDGsとジェンダー平等 講演会」収支決算書

収入総額 30,000円
支出総額 30,000円
残 額 0円

収入内訳

科 目	金 額	付 記
本会負担金	15,000	
補助金	15,000	会津若松市より
計	30,000	

支出内訳

科 目	金 額	付 記
講師謝金	30,000	
計	30,000	

上記のとおり、ご報告いたします。

令和6年2月22日

会津若松市男女共同参画推進実行委員会
実行委員長 皆川 誠治

